

令和6年度 北見カトリック学園 幼保連携認定こども園留辺薬マリア幼稚園 学校評価

1. 教育目標

- ・人や何に対しても感謝の心を持てるこども
- ・自分のあやまちを素直に認め、謝れるこども
- ・他人のあやまちを、素直に許せるこども

2. 教育目標達成に向けての令和6年度の重点

- (1) 神様・イエス様を身近に感じ、恵みに感謝して祈る心を持つ。
- (2) 他者との交わりの中で、「ありがとう」「ごめんね」「いいよ」の心を持つ。
- (3) 教師や友達と一緒に五感を通して豊かな体験を実践して、豊かな感性を育む。

3. 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	3.9	教育目標を基に指導計画を立て、計画に基づいて子どもたちが自主的に活動できるような環境を構成した。自然に恵まれた環境を有効に保育に取り入れる事が出来た。
保育の充実と園児との関わり	3.9	園児の言葉を聴き、個々に合わせた声掛けや関わりを大切に行うように心掛けた。また自主性を活かせる保育内容を取り入れることを意識して行った。
安全管理	4	様々な危険を想定して環境を整えた。月1回の防災訓練を通して安全に対する意識が園児も保育者も高まる。月毎に安全点検を行い修理できる箇所を早めにするよう心掛けた。
地域の幼児教育機関としての役割	3.5	地域の保育施設や学校との交流を沢山行い、園の様子を見て頂き、関わりを密に持てるよう取り組む事が出来た。一方で地域の方に来園して頂く事が多く、自ら出向くことは少なかった。
教員の資質・能力向上	3.7	研修会への参加や園での分かち合いを多く行う。中には外部の研修に参加する機会が少ない職員もいたが、自身の保育を実践する中で課題を見つけ、反省を活かしながら質の向上に努めた。
保護者との連携	3.9	コドモンの活用や送迎時に保護者に日頃の様子を伝え連携を充実させることが出来た。大きな行事の後には保護者アンケートを取り、意見や感想等の想いを受け、保護者との共有を大切にした。

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 令和6年度の総評

結果	理由
3.8	○今年度で閉園となる事から、今まで以上に建学の精神に向かって研鑽を積み、日々を大切に保育に取り組む。保育中に加えて職員間でも祈る時間を大切に持つ。保育教諭全員が保育経験が5年以上あるという職員構成の中で 互いに学び合い高め合う土壌があった。 ○地域の方から沢山声を掛けて頂き、留辺薬自治区の他の保育施設や学校、高齢の方々との交流する機会を多く設け、異世代との関わりを活発に行ない交流を広げた。 ○園児数を鑑みて今年度は3歳以上児・3歳未満児共にひとクラスとした。運動会の競技や園児間の交流の新鮮さを保つ保育の提供など工夫が必要だったが、職員間で共通理解して日常保育や行事を進めていく。行事後は職員で振り返りの時間を持ち、次の取り組みに活かすようにした。 ○コロナ禍以降控えていた保護者参加の行事を今年度は多く設ける。親子で喜んで参加する姿が見られた。 ○自然に恵まれた環境を通して、園児に豊かな経験を提供する事を心掛ける。遊びの中で木の葉や草花・雪や氷といった自然物を積極的に取り入れた。 ○園の教育目標である「ありがとう・ごめんね・いいよ」が1学期は言葉だけになりがちであったが、2学期以降は自然に伝え合うようになり、園児の中に浸透したと感じる。微力ではあったがカトリック園として子どもたちに神様の愛を伝える役割を果たす事が出来たのではないかと考えている。